

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	KN	学部・学科	データサイエンス
学 年	4	派遣国	イギリス
派遣大学	リーズトリニティ大学		
期 間	2025 年 09 月 16 日～2026 年 05 月 29 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○ (暖房のみ)	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (14 万) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (20) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	60,000 円	スーパー・外食等
学用品購入費	0 円	特になし
交通費	10,000 円	1sem 通学代
交際費	20,000 円	友人との時間のための費用
その他	10,000 円	

合計

100,000 円

*概算で記録してください。

旅行など遠出した際はこれと別途費用がかかりました。

(2) 治安状況・危険地域など

治安はそこまで悪くないと思います。友人と一緒に夜遅くに歩いていても不安はありませんでした。SNS では取っ組み合いの喧嘩している動画なども出てきますが遭遇したことはありません。ですが、暗くなってからはより一層気をつけるべきだと思います。ブラッドフォートという隣の街は危険なようです。車の盗難や強盗、暴力などの事件が起きていると聞きました。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(103,930) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	NHS		
加入期間	(12 ?) ヶ月間	保険料	(160,495) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**リーズ**)
大学が多く学生街。シティセンターにはショッピングセンター、レストラン、カフェ、スーパーマーケットなどが多く、日常生活に必要なものは揃えやすかったです。日本食スーパーマーケットもあり日本食にはあまり困りませんでした。地理的にも真ん中あたりに位置しており、イギリス内の旅行がしやすい点もメリットです。
寮はシティセンターから歩いて 20 分ほどでしたが、真裏に有名な博物館があったり、川があったりで、休日には多くの人々が訪れる安全な場所でした。

シティキャンパスは駅の真裏にありとても利便性がよかったです。メインキャンパスも最寄りの駅から無料シャトルバスが出ているのでかなり便利だと思います。

【学業編】

1. 大学情報

大学	リーズトリニティ	所在地	イギリス リーズ city 内
最寄空港	マンチェスター (リーズブラッドフォードもありますが 使用しませんでした)	空港からの距離	1 時間半
空港⇄大学	(電車またはバス) バスなら寮や学校の近くまで、安く、乗り換えなしで行けます。		
学生数	約 5000 人	留学生数	約 15 人
学部	1. The Business School 2. School of Computer Science 3. The Law School 4. School of Construction and the Built Environment 5. School of Criminology, Investigation and Policing 6. School of Digital and Screen Media 7. School of Education 8. School of Sport and Wellbeing 9. Faculty of Social and Health Sciences *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	コンピューターサイエンス *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Social Influences on health and wellbeing		PR and Promotion	Data Science for business
午後		Social Influences on Health and Wellbeing			Data Science for business

② (1)月～(3)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Themetic Project and Placement				Computer Networking and Security
午後	Themetic Project and Placement				Computer Networking and Security

3. 履修内容

科目	Social Influences on health and wellbeing		
履修期間	1st sem	単位数	15 ECTS
授業内容／形態	健康やウェルビーイングに影響を与える社会的要因について学んだ。ジェンダー、文化、教育、貧困、雇用などの社会的決定要因と健康格差との関係を扱った。また、公的な健康データを用いた地域分析や、社会的不平等への対応策についても学修した。授業では講義やグループ活動を行い、ポートフォリオおよびグループプレゼンテーションによって評価された。		
成績	63		
YCU 振替予定	科目	社会学入門 b + 特別講座（留学科目・共通教養）×2	
	単位数	6	
	担当教員	北嶋健治先生	

科目	PR and Promotion		
履修期間	1st sem	単位数	7.5 ECTS
授業内容／形態	広報およびプロモーション活動について学んだ。PR の基本的な考え方、メディアリレーション、プレスリリースの作成、イベントや SNS を活用した広報活動などを扱い、企業や組織が目的に応じて情報を発信する方法について学修した。また、Semester 1 では PR portfolio を作成した。		
成績	41 (1st sem の成績は 82 だが成績表には 41 と記載されていた 確認中)		
YCU 振替予定	科目	特別講座×1	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Data Science for business		
履修期間	1st sem	単位数	15ECTS
授業内容／形態	データサイエンスをビジネスに活用するための基礎理論と実践について学んだ。記述的・探索的・確認的データ分析や、データの可視化、ビッグデータ、データ管理、データに基づく意思決定などの考え方を学修した上で、Power BI や複数の AI・データ分析ツールを用いて、分析や可視化、ダッシュボード作成を実践した。また、企業で実際に働く実務家による講義を通して、データ分析や AI がビジネスの現場でどのように活用されているかについても学んだ。		
成績	70		

YCU 振替予定	科目	特講（データサイエンス学部留学科目）×3
	単位数	6
	担当教員	

科目	Computer Networking and Security		
履修期間	2nd sem	単位数	15 ECTS
授業内容／形態	Cisco Packet Tracer を用いて、企業ネットワークの構築・設定およびトラブルシューティングを实践した。Cisco ルータ、マルチレイヤスイッチ、アクセススイッチ、ASA ファイアウォールを用い、VLAN、Inter-VLAN routing、DHCP、ACL、NAT、Port Security などを設定した。また、ネットワーク障害やセキュリティ上の問題を特定し、設定を修正した上で通信確認を行った。		
成績	68		
YCU 振替予定	科目	特講（データサイエンス学部留学科目）×3	
	単位数	6	
	担当教員		

科目	Themetic Project and Placement		
履修期間	2nd sem + placement term	単位数	15ECTS
授業内容／形態	コンピューティング分野におけるプロジェクト活動と実務経験を通して、プロジェクト管理、チームワーク、問題解決、コミュニケーション能力を身につけた。Agile や Scrum などの開発手法を用いたグループプロジェクトに取り組み、プロジェクト計画、調査、実装、評価を行った。また、約 210 時間の実務 placement を経験し、専門職としての倫理的・法的・社会的課題についても学んだ。実習後には自身の経験や学びを振り返るレポートを作成した。		
成績	61		
YCU 振替予定	科目	特講（データサイエンス学部留学科目）×3	
	単位数	6	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学中は、現地生活そのものに加えて、授業やチームでのゲーム開発、インターン獲得のための応募・面接、日本帰国後を見据えた就活、旅行、友人との時間など、同時にやりたいことがとても多かったです。全部をやり切りたい気持ちが強かった一方で、時間も体力も足りず、何を優先するかを決め続けなければならず、そのこと自体がかなり大きなストレスでした。

特に、院進学を考えていたこともあり、就活をするべきか、せっかくの留学中だから今しかできない経験を優先するかという迷いは大きかったです。ロンキャリ前の 1 か月はかなり就活に力を入れたものの、その後は、留学中の時間をもっと充実させることを選びました。その選択によって強い不安を感じることもありましたが、今振り返ると後悔はなく、あの選択でよかったと思っています。

そこから得た大きな気づきの一つが、考えることと、考えすぎることは違うということです。留学中は決めることが多すぎてかなり悩みましたが、悩み続ける時間そのものが行動できる時間を減らしていることにも気づきそこでも葛藤しました。一方で、たくさん悩んだからこそ、後悔がないのだと思います。

また、留学前はかなり計画的で、予定通りに進むことに安心を感じるタイプでした。でも現地では、その場で予定が変わったり、臨機応変に動いたり、「今この瞬間を楽しむ」ような過ごし方が多く、最初はかなりストレスでした。それが今ではむしろ心地よく感じることもあります。計画を重視するだけではなく、柔軟にその時を楽しむこともできるようになりました。

ただ、その計画がない状況に対してふとした時に強い不安を感じることもありましたが、今は、将来をすべて決めておく必要はないが、おおまかに次にどう動くかが見えていれば安心してつつ楽しめるのではと考えています。

就活についても、答えが出たわけではないですが、自己分析をかなりできたことは大きかったです。自分は何を大切にしたいのか、どんな働き方がしたいのか、何をしたいのかを考えるきっかけになり、結果として「卒業したらすぐ就職しなければならない」という日本の一般的なルートに必ずしも従わなくていいと思えるようになりました。失敗したとしても、その過程で成長は残り、遠回りしてもやり直せるという感覚も強くなりました。

チームでのゲーム開発も大きな経験でした。英語でチームメイトが何を言っているかわからない、技術力にも自信がない、あまり作業しないメンバーなのに要求は多い、意見が割れて喧嘩のようになるなど、精神的にきつい状況でした。そこから、単に「チームワークは大切」というより、全員が同じ熱量・能力・考え方で動くわけではない中で、どう成果を出すかという難しさを学びました。また、完璧でなくても、その時の自分にできるベストを出すことや、自分でコントロールできないことがある中でも前に進むことの大切さも感じました。

人間関係についても考え方が変わりました。時間が限られている中で、八方美人のように過ごすのではなく、選択する大切さも学びました。そして周りとは比べすぎないことや、自信がない時でも卑屈にならず、その時の自分なりにできることをする大切さも学びました。

さらに、休むことや体調を優先する大切さにも気づきました。やりたいことが多いと、つい追い込む性格でしたが、体調を崩してしまえば、その後の時間まで失うことになります。全部をやろうとして無理をするよりも、必要な時に休み、長く動ける状態を保つことの方が結果的には重要だと身をもって学びました。これは、優先順位をつけることや、すべてを完璧にやろうとしないことにもつながっています。

海外で生活したことで、日本を外から見る視点も得ました。イギリスとは直接関係のない日本のニュースまで現地の人が知っており、自分に問いかけてきたことや、「日本では歴史をどのように教えているのか」と何度か聞かれたことには驚きました。そこで、海外で他国の人と話すためには英語力だけでなく、自国の政治、歴史、社会について自分なりに理解し、説明できる知識も必要だと感じました。また、移民問題や国際情勢についてももっと勉強したいと思うようになりました。

同時に、日本の良さや国際的な存在感にも気づきました。有名企業や製品が広く知られていること、日本のパスポートの強さ、治安や公共交通、サービスの質、生活の便利さなど、日本にいた時には当たり前だと思っていたことを外から見て、改めて日本の強みを実感しました。また、また、留学を通して、日本語という母国語だけで高等教育を受け、大学院レベルの専門的な内容まで学べること自体が、当たり前ではないと気づきました。日本では日本語だけで生活し、仕事をし、専門的な知識を学ぶことまでできる環境が整っていることのすごさにも気づきました。日本語は世界的に広く使われている言語ではないにもかかわらず、教育、研究、行政、企業活動、日常生活のほとんどを日本語だけで完結できます。海外に出たことで、これは決して当然のことではなく、日本の社会や教育の大きな特徴の一つだと感じるようになりました。

今振り返ると、留学中は不安やストレスもかなり大きかったですが、とても満足しており、自分の成長も強く感じています。その理由は、正解が分からない中でも、自分で考えて、自分で選んで、毎日その時にやりたいことを実際にやってこられたからだと思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今後は、留学を通して得た経験や視点を、日本社会や自分の将来の仕事に生かしていきたいと考えています。海外で生活したことで、日本の良さや強みを改めて実感すると同時に、日本について自分の言葉で説明できる知識を持つことの大切さにも気づきました。そのため、今後は専門分野の学習だけでなく、日本や世界の政治・経済・歴史・社会についても学び続けたいです。

また、留学中に身につけた英語を今後も使い続けたいです。英語は単なる語学力ではなく、異なる背景を持つ人とつながり、新しい考え方や情報に触れるための手段だと感じました。大学院での学びや将来の仕事でも、英語を使って海外の人と関わりながら、自分の専門性を高めていきたいです。

さらに、留学を通して、将来を考えることと、その時々を楽しむことの両方が大切だと学びました。これからも進路や仕事について悩むことはあると思いますが、すべての答えをすぐに出そうとするのではなく、その時点でできる最善の選択をしながら、今しかできない経験や人との時間も大切にしていきたいです。将来的には、海外で得た経験や専門性を生かしながら、日本と海外をつなぐような形で社会に貢献していきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学を希望していても、就職活動や卒業のタイミング、費用などを考えて迷う人は多いと思います。私自身も、留学によって卒業が1年延びることになりました。しかし、今振り返ると、留学に行き本当によかったと強く思っています。そのため、行きたいという気持ちがあるのであれば、最初から諦めるのではなく、一度実現する方法を探してみたいです。

特に費用面に不安を感じる人も多いと思いますが、交換留学であれば横浜市立大学の学費で留学できることは大きなメリットだと思います。また、留学に利用できる奨学金も複数あるため、情報を集めて応募してみることをおすすめします。現地生活についても、工夫次第で節約することは可能です。イギリスでは留学中にアルバイトをすることもできます。就職活動についても、現在はオンラインで面接を実施する企業も多く、ロンドンキャリアフォーラムやボストンキャリアフォーラムなどを活用する方法もあるため、留学と就職活動を両立する選択肢もあります。

留学を決めた人には、何度も聞くとおもいますが英語の勉強を続けてほしいです。英語力が上がるほど授業を理解しやすくなるだけでなく、現地で友人をつくったり、自分から新しいコミュニティに入ったりすることもしやすくなると感じました。また、可能であれば現地のアクセントやイントネーションにも事前に触れておくことをおすすめします。私自身、留学当初は慣れていない発音を聞き取れず、何度も聞き返して申し訳なく感じるがありました。しかし、聞き続けているうちに徐々に慣れていったため、最初に理解できなくても諦めないことが大切だと思います。

また、他の留学生や日本人と自分の留学生活を比べすぎないことも大切です。特にフラットメイトや周囲の環境など、自分では選べないこともあります。「他の人はフラットメイトと

仲が良いのに」などと比較して落ち込むより、自分で変えられることに目を向け、別のコミュニティに参加したり、自分から人に話しかけたりする方が有意義だと思います。

留学前には、現地で何が起こるのか、友人ができるのか、授業についていけるのか、帰国後の進路はどうなるのかなど、見通しが立たず不安になることも多いと思いますが、すべてを事前に確定させることはできません。私自身、留学を通して、分からないことがある状態でもまず飛び込んでみて、その時々で考えながら行動していくことの大切さを学びました。不安があることだけを理由に諦めず、ぜひ挑戦してみてください。